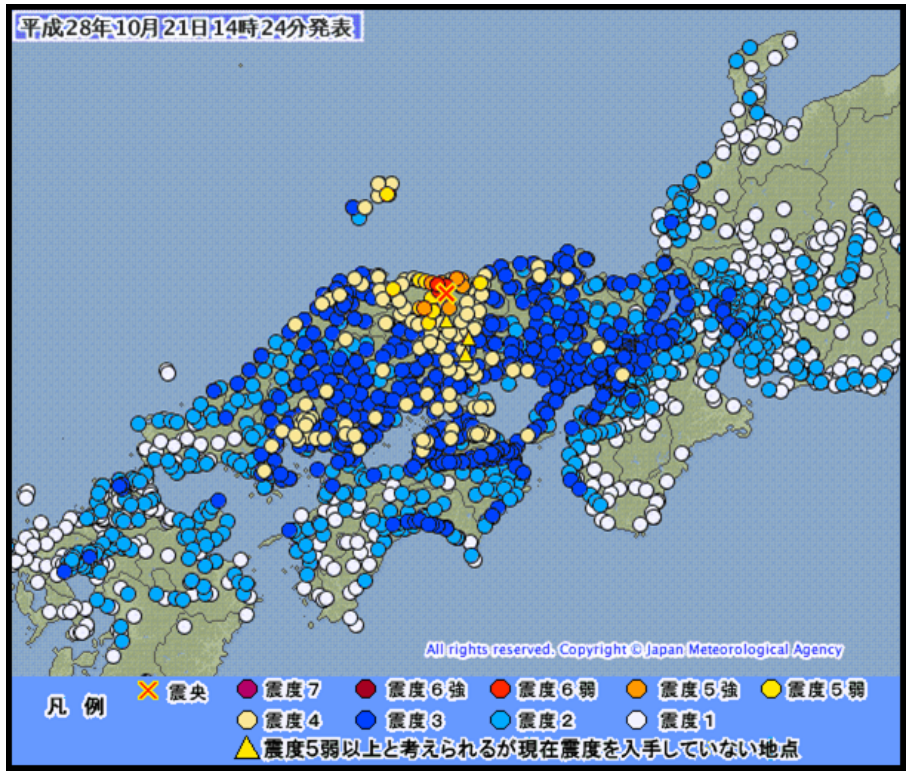
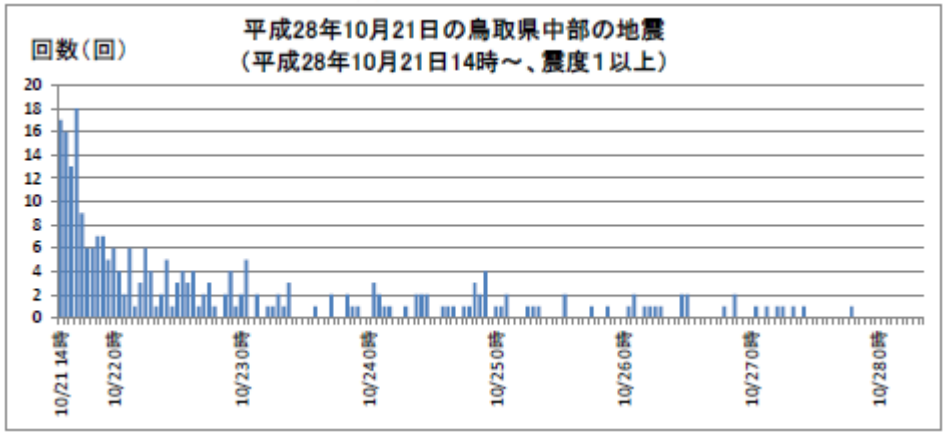
1．地震の概要

- 発生時刻：　平成28年10月21日14時07分
- マグニチュード：　6.6（暫定値）
- 場所および深さ：　鳥取県中部（北緯35.5度、東経133.84度）、深さ11km（暫定値）
- 発震機構：　西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型（速報）
- 震度：　【震度6弱】鳥取県倉吉市（くらよしし）、湯梨浜町（ゆりはまちょう）、北栄町（ほくえいちょう）
  【震度5強】鳥取市（とっとりし）、三朝町（みささちょう）、岡山県鏡野町（かがみのちょう）、岡山県真庭市（まにわし）



震度分布

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
10/21 14時-24時	52	27	18	6	0	0	1	0	0	104	104	
10/22 00時-24時	49	18	2	0	0	0	0	0	0	69	173	
10/23 00時-24時	20	4	0	0	0	0	0	0	0	24	197	
10/24 00時-24時	19	6	3	0	0	0	0	0	0	28	225	
10/25 00時-24時	7	3	1	0	0	0	0	0	0	11	236	
10/26 00時-24時	8	4	2	0	0	0	0	0	0	14	250	



余震発生状況

※気象庁資料より

2. 土砂災害危険箇所点検の概要

1. 点検期間

平成28年10月22日（土）～10月28日（金）

2. 点検体制

鳥取県、鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会、県測量設計業協会　（166名/日、55班）

3. 点検内容

（1）点検対象箇所

震度5強以上を記録した市町内の緊急度の高い危険箇所 1,146箇所

《該当市町：鳥取市（旧鹿野町、旧青谷町）、倉吉市（旧倉吉市）、三朝町、湯梨浜町、北栄町》

（2）調査内容

・人家周辺の斜面の変状（崩壊の発生など）

・土砂流出、河道閉塞や崩壊、地すべりの発生状況など

4. 点検結果

（1）地上及びヘリ調査によって下記A～Cの『危険度』を評価

A：応急的な対応が必要な箇所

B：小規模な崩壊等があるが経過観察でよい箇所

C：特に変状がみられない箇所

（2）点検結果

【該当市町全体】　（箇所）

区分	危険度A	危険度B	危険度C	計
土石流	0	0	467	467
急傾斜地	10	59	597	666
地すべり	0	0	13	13
計	10	59	1,077	1,146